

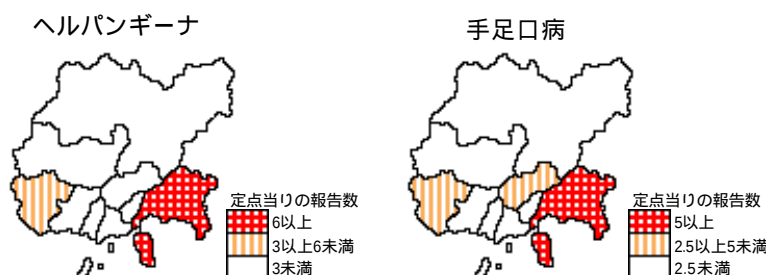
コメント

1. ヘルパンギーナ

5週間にわたって減少を続けていますが、まだ報告数が多い傾向です。特に安芸区では定点当たり13.00人と依然として流行がみられ、報告数は全市の半分以上を占めています。

2. 手足口病

今週は増加に転じました。これは一時的と思われるのですが、注意が必要です。定点当たりでは、安芸区7.00人、中区3.67人、佐伯区3.33人となっています。



4 類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号	疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号
インフルエンザ	-	-	-		麻疹(注1)	2	0.10	0.13	
咽頭結膜熱	-	-	0.33		流行性耳下腺炎	24	1.20	0.33	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.25	0.17		急性出血性結膜炎	1	1.00	0.13	
感染性胃腸炎	50	2.50	1.38	↗	流行性角結膜炎	5	5.00	0.88	
水痘	13	0.65	0.67	↘	急性脳炎(注2)	-	-	-	
手足口病	48	2.40	2.33	↗	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	20	1.00	0.25	↗	無菌性髄膜炎	6	1.00	0.29	
突発性発疹	20	1.00	1.08		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
百日咳	-	-	-		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	
風疹	-	-	0.04		成人麻疹	1	0.17	-	
ヘルパンギーナ	52	2.60	1.83	↗					

今週は、定点医療機関のお盆休診のため、一時的に定点数を変更しています。

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		殆ど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 29 (小児科定点含む)
小児科定点数 20
眼科定点数 1
性感染症定点数 9
基幹定点数 6

(注1) 成人麻疹を除く

(注2) 日本脳炎を除く

(注3) オウム病を除く

1 類～4 類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾病名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	6	22	南区・女性・34歳, 西区・女性・22歳, 安芸区・女性・16歳 佐伯区・男性・12歳, 佐伯区・女性・12歳, 佐伯区・女性・53歳
4	後天性免疫不全症候群	1	3	女性・30歳

2001年第32週(8月6日~8月12日)